

【開催のご案内】

第23回 図書館とともにすすめる まち・教育・情報の未来



図書館総合展2021

ONLINE **plus** (おんらいん ぷらす)

全国の図書館が、司書ひとり一人が“会場”になる！図書館に関するすべてが集まるコンベンション

図書館関係で国内最大のコンベンションである本展は、今秋の開催を、昨年に引き続いてのオンライン形式に加え、安全の確保できる小会場をつないでリアルイベントも行うハイブリッド形式で行います。

コミュニケーションや情報取得のあり方が大変動している今況を好機ととらえ、出展者・来場者・企画の皆さまとともに明日の図書館像を考え、試してゆく場となることを期しています。

- 日程：2021年11月1日（月）～30日（火）
※昨年のようなコア日は設けませんが出展者間で調整し対象・テーマごとの特集日を設定します。
- 型式：ウェブサイトと小会場群をつなぐhybrid形式
- 主催：図書館総合展運営委員会
- 企画・運営：株式会社カルチャー・ジャパン

◇図書館総合展公式ウェブサイト

<https://www.libraryfair.jp/>

※近々、公式ウェブサイトのホームページをこちらのかたち（2020年特設サイト）に移行します。

<https://2020.libraryfair.jp/>



〈第23回開催方針〉

1. 昨年よりもさらに時間・距離・立場の制約を越えてゆくこと！これまでご来場いただけなかった館種・地方・業務・分野の方々にご参加いただけるよう努めます。
2. またそうした方々とこれまでご参加いただいていた皆さまとの情報交流を盛んにすること！そこに生じる価値を、皆さまに実感していただけるよう努めます。
3. 新しい方法や考え方を試してみる場、失敗してもいい場、発表してみる場！その環境を整えます。
4. 出展・来場・企画の皆さまにとっての、オンラインの可能性追究と、リアルであることの価値再認識、またその融合=ハイブリッドの価値発見をめざします。
5. なにより昂揚すること、愉しくあること！それを通じて難局に対する〈免疫力〉をつけましょう。

◆問合わせ先

図書館総合展運営委員会事務局

LF@j-c-c.co.jp TEL: 03-3357-1462 FAX 03-3357-2814

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町10-10 株式会社カルチャー・ジャパン内

◆図書館総合展とは

本展は、図書館関係で国内最大のトレードショーであると同時に最大級の交流イベントとしてご好評をいただいております。館種を越えて図書館関係者が一堂に会しコミュニケーションを深めることができる場はほかになく、また企業や機関、研究者や学生など立場の異なる参加者が多数集まるため、図書館関連のトレンドを一気に把握するには最適のイベントとして認知されております。ために回を重ねる毎に、図書館の枠を越えた多方面の分野からも来場者を増やしています。

毎秋、パシフィコ横浜を会場として3日間の会期、のべ3万人以上の来場者を集めて開催してきましたが、昨年はコロナ禍の影響を受け、準備期間中に方針を転換、全面オンラインでの開催としました（会期30日間。ウェブ会議・講演会・オンライン相談会・ワークショップ・LIVE中継見学会等を行いました。）。出展・参加・企画の各々の皆様のご理解とご協力により、オンライン化ならではの価値を追求し、皆様より良い機会を得たとの評価と結果を得ました。



◆来場者と出展者

▼2019年 従来方式＝会場での開催（3日間）	▼2020年 新方式＝全オンラインでの開催（30日間）
<ul style="list-style-type: none">・来場者数 30,402 名・出展者数 のべ 591 件 展示ブース 153 件 フォーラム 88 件 ポスターセッション 109 件	<ul style="list-style-type: none">・総ページビュー 590,280・アクティブユーザー のべ 60,781 ※日毎のアクティブユーザー数を集計・出展者数 のべ 495 件 展示ブース 80 件 トークイベント等 308 件 ポスターセッション 59 件 ONLINE 図書館見学会 48 館
年々で前後しますが例年この水準です。	急な形式転換にもかかわらず多くの方にご参加いただきました。

◆開催内容（2020年）

● ウェブイベント

：ウェブ会議システムやYouTube配信などを用いて、講演・会議・ワークショップ・相談会などが行われました。

● ブース（出展）ページ

：各出展団体が工夫をこらしたページで展示や配布・通販などを行いました。またチャットから始まる相談・商談が人気でした。

● ポスターセッション

：学生さん・研究者さん・NPOの皆さん向けの展示発表コーナーです。

● 図書館見学会 ONLINE

：画面の前に居ながらにして、遠くの館、普段でもなかなか入れない書庫などを見学できるオンライン見学会が、ZoomやYouTubeをつかって行われ好評でした。

- ほか、**図書館レファレンス大賞**、**Library of the Year**、**図書館キャラクターの環**、**全国学生協働サミット**、図書館界に関心のある学生＆図書館に勤務して日の浅い方々のために「総合展で何をみたらよいか」ナビゲーション...などの来場者が積極参加できる諸企画が行われました。

各々の様子について、前回開催のアーカイブからご覧いただけます。

<https://2020.libraryfair.jp/>

◇前年までとの違い～例年ご参加のみなさまへ

- ・ パシフィコ横浜展示ホールをブース展示会場として使用しません。
- ・ 対面、現物会場としてサテライト会場（下掲）を複数設定します。
- ・ コア日程（昨年3日間）は設定しませんが、トピックや対象ごとの特集日を出展者と相談して決めます（7月頭から調整開始）。
- ・ 1出展に対してのイベント設定数の制限をなくしました。
- ・ 新企画「インターンシップ_ONLINE」「図書館海外交流_ONLINE」など、出展・参加の効果がさらにアップする企画を用意しております。
- ・ 出展ページは7月中にご提供します。前年特設ページと同じ形式です。
- ・ 出展料を改訂させていただきました。

◆サテライト会場

今回の開催では、例年行ってきました大ホールでのブース展示は行いませんが、new normal下で「対面であること」「現物を前にすること」の価値を追究すべく、「少人数の集まることが可能な条件の整った場所」をサテライト会場として設定し、これらとオンライン開催をつなぐ試みをします。

- ・ サテライト会場は、出展者のショールーム、集会場、図書館そのもの等々を想定しており、皆さまに呼びかけて募集します。
- ・ サテライト会場では、会場当事者の企画を開催するのはもちろん、他の出展・企画も受け入れていただけることを期しています。
- ・ サテライト会場で行うのは、「リアルでしてみたいこと、してもらいたいこと」です。講演会はおすすめせず、体験会などが推奨です。
- ・ 最優先事項は、感染拡大防止です。「急遽、会場中止→ONLINEに変更」しうる体制を整えます。
- ・ 感染防止マニュアル、来場者向け案内のテンプレート、ガイドを運営委員会でご用意します。
- ・ サテライト会場での開催を、運営委員会でサポートします（場合により事務局員を派遣）。
- ・ サテライト会場をご提供いただきました皆さまには、本展での各種優遇をご用意しております。

お誘いあわせのうえ、ご来場・ご出展・企画参加いただければ幸いです。

▽新任の方、図書館へ異動してこられた方へ

「研修の一環として、またコネクションづくりに最適です」

▽出版・メディア、情報産業の方々へ

「“図書館”という情報チャンネルの可能性をご覧ください」

「図書館員とりわけ選書担当の生の声をきいてみませんか」

▽学生の皆さんへ

「図書館業界研究に！まだ知らない友だちを求めて！ご参加ください。」

▽行政・自治体関係の方々へ

「ここには先行事例やアイデア、技術があふれています。」

▽学校関係者の方々へ

「GIGAスクールで複雑化する教育に、ぜひ図書館の活用をご検討ください」

▽いつものご愛顧いただいているみなさまへ

「内容も形式も“更新”される小展に、今年もぜひお越しください」

▽一般の皆さん、図書館利用者のみなさんへ

「ここに来ると、図書館のつかい方が変わりますよ！」

◆メルマガ登録



◆11月の本展までにしていただきたいこと

● メールマガジン購読登録

本展ほか図書館関連イベントのご案内、企画への参加募集などをお知らせしています（ほぼ週刊）

● 総合展アカウントへの登録

本展ウェブサイトは、アカウントでのログイン後限定で見られるコンテンツが多くありますので、ぜひご登録ください。

◆アカウント登録



● 前年開催のアーカイブをご覧ください

会期後も講演記録動画などを公開しています。

<https://2020.libraryfair.jp/>

● 連続フォーラムへの参加

本展までの間、6月、8月、10月に、各館種の図書館をテーマにした、1、2日会期のフォーラムを開催しています（オンライン+会場のハイブリッド形式）。こちらものぞいてみてください。

● ほか、出展説明会をZoomを通じて開催しますので、ぜひご参加ください。

● そして小さなところからでも、ぜひ出展をご検討ください。

覗くだけより、発表する側・見せる側にまわる方がはるかに多くの情報とおつきあいを得ることのできるのが本展です。オンライン開催でさらにその傾向が強まっています。企画参加（見学会実施など）の方にも小出展をかなりおすすめします。

◆スケジュール

日程	イベント
6月頭	出展募集開始（～8/15※出展案内冊子に掲載する場合）
6月～	個別相談、出展説明会onZoom（6月、7月、8月）
6月26、27日	連続フォーラムin酒田（ハイブリッド方式）
7月頭～	2021年出展個別ページのご提供。特集日調整開始。
8月中～末	開催案内冊子編集
8月17日	出展申込み〆切（開催案内冊子掲載のための期日）
8月中	連続フォーラムin追手門学院（予定）
9月中下旬	出展者説明会_ONLINE（出展者・参加型企画出場者対象）
9月下旬	開催案内冊子の全国発送
10月	プレ開催（IT初心者練習会、予習会、みどころ解説=総合展ラジオ など）
10月	連続フォーラムin専門図書館
11月1日	開会集会_ONLINE（出展者・参加型企画出場者限定_決起・懇親会）
11月1日～30日	本展開催
11月30日	閉会集会_ONLINE（入場自由。おたのしみ企画も予定）

なお、今後の社会情勢などによって、方式などが変更になることがあります。ご容赦くださいませ。